

こころに寄り添う 緩和ケア

病いと向き合う「いのち」の時間

本書は東京都立駒込病院精神科のメンバーが執筆された。同院は地域密着型総合病院であるのと“がん医療センター”という専門性を持っている。従って数多くのがん患者と接する体験を皆が持つ。毎週行う神経科カンファランスで各患者さんに有効な心理的援助についての話し合いが、本書を生むきっかけとなった。

最初は「緩和ケア勉強会」が、その後「緩和キヤンサーボード」に、さらに現在の「緩和ケアチーム」に発展した。本書は当時の「緩和ケア勉強会」のまとめとして、神経科メンバー各々が自ら残しておきたいと思った気づきを綴ったもの。

著者らは、本書を振り返り、「終末期を迎えた患者さんのこころに私たち

が寄り添えるとしたら、それは人と人が対等な関係のなかで互いに思いやる営みの一環としてこそ可能になるのではないか」としている。

- ◆編者→赤穂理絵、奥村茉莉子
- ◆著者→井西庸子、太田直子、佐々木常雄
- ◆仕様→A5判 228頁
- ◆定価→本体2,600円＋税
- ◆発行→(株)新曜社

e-mail: info@shin-yo-sha.co.jp

